

# 翌檜新聞



志 寛 錬

第2号  
2021.3.25  
第75代  
伊敷中生徒会



# 志を立てる

## 236名の誓い

2月13日（土）に、立志式が行われ、二年生が立てた志が披露されました。

それぞれのクラスの代表の生徒による群読、そして、作文の発表がありました。

「夢」に対する思いを代表で発表した二年六組の春田慎之介くんは、「家や学校で練習を重ねて、本番では自分なりのよい発表ができたと思う。緊張したが、これまでもあまり自分の将来について考えることがなかったの、いい機会になりました。立志式の間、準備をしながら、一人一人将来の夢をボードに書きましたが、それをきっかけに将来について考えるようになった人も多かったです。将来の夢を全員が力強く掲げることができました。」

この立志式を見た感想を述べていました。

「二年生の立志式を見て、来年は僕たちもあの場所に立つのだなと思った。黄学年全員で成功させたいと思った。もうすぐ新一年生も入ってくるので、将来を意識しながら、行動したい。そうすることで、後輩たちのお手本になることができると思った。」

と立志式を見た感想を述べていました。



### 夢のボードを掲げる2年生

の松田大雅くんは

「夢のボードを掲げ、目標に向かって、努力し、責任のある行動をしていきます。」

（武 大叶）

### 立志式記念講演「何事も気持ち次第」

立志式後には、鹿児島ユナイテッドFC応援リーダーである田上裕さんによる講演を聞きました。「何事も気持ち次第」という演題で、田上さんの経験を通して、たとえ失力のある講

演でした。田上さんは、夢を叶えるために大切な四つのことをお話しされました。それは、「夢や目標をもつ」「夢や目標を毎日常に意識する」「たくさん失敗（チャレンジ）

（武 大叶）

（武 大叶）

（武 大叶）

### 入学説明会

1月22日（金）小学六年生に向けての入学説明会が行われました。その中で、生徒会活動の紹介の映像が流されました。これは生徒会役員が演じたものです。例年の入学説明会では実際

### 生徒会活動の紹介

（武 大叶）

### 伊敷中生へ贈る言葉

伊敷中には三つの門があり、それぞれに黒板があります。その黒板には生徒会役員が伊敷中生への言葉を書いています。その言葉に込められた思いを伊敷中生へ伝えたいと思い、これから生徒会新聞で紹介し

### 「あきらめないことだ。一度あきらめると習慣になる」

この言葉は斎藤茂吉さんが言ったものです。「あきらめない」ということは「前に進み続ける」ということです。一度あきらめてしまうと、あきらめるのが簡単になり、繰り返すようになってしまいます。成功するまであきらめなければ、挑戦する前より心が成長できるはず

（永田 優李）



毎年恒例イシキーズ

し、後輩たちが安心して入学できる環境を創っていきましょう。（田代 紅愛）

### 生徒会の窓

2011年3月11日、東日本大震災が起きました。未曾有の大災害から10年。犠牲者の追悼のため、私たちも黙祷をささげました。

私は震災が起きた10年前はまだ小さかったのではありません。記憶に残っていません。当日の学年朝会では先生から東日本大震災のお話を聞きました。当時の写真を見せたいだいたり、現在もまだ行方不明の方がいらっしゃるという話を聞いたりすることで、東北の方々が苦しき悲しい思いをしたのだということを改めて感じました。大切な人を失い、深く苦しき悲しんだ人々が、悲惨な状況の中でも「立ち上がる」「前を向いていこう」と決意し、進んでいったことで今の東北があります。悲しみや苦しみの中でも立ち上がった東北の方々の強さは本当にすごいと思います。どんなに苦しくても前を向いて歩いてきた東北の人たちを同じ日本人として誇りに思います。

日本は原爆にあっても、大震災にあっても、未曾有の苦難をいくつも乗り越えてきた国です。日常生活の中でも苦しいときがあるかと思ひます。でも、前を向いて進んでいく強さを私たちももっていかれたらと思います。

（町田歩未）



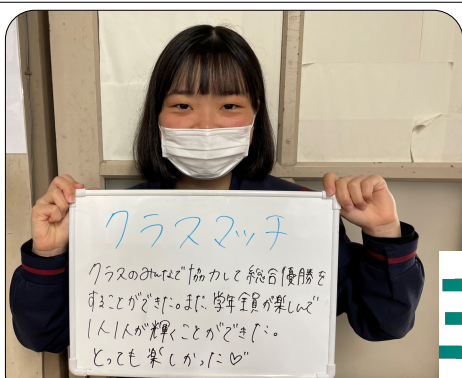
掃除棚の様子

### 掃除道具も美しく

伊敷中では放課後「残り姿」の時間がありませんが、掃除の後の残り姿はどうなっているのでしょうか。掃除棚やぞうきん掛けの並べ方を確認しましょう。

掃除棚にははうきを逆向きに立てます。きれいに並べてください。ぞうきん掛けのポイントは





↑【クラスマッチ】クラスみんなで協力して総合優勝をすることができた。学年全員が楽しんで一人一人が輝くことができた。

（馬場口彩音、銀田結月）

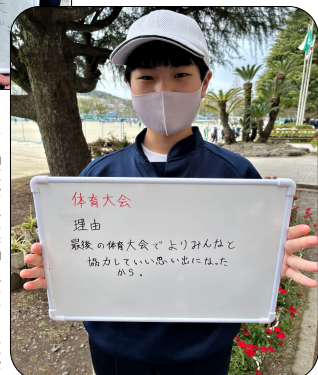
特に大きな行事として「音楽コンクール」「体育大会」「文化祭」の中で一番思い出に残っているものを聞いてみました。アンケートに協力してくださった94名のうち、文化祭が45名、体育大会が40名、音楽コンクールが9名という結果でした。今年にはコロナ禍ということもあり、例念とは違う形で行われた行事もあり

## 三年間の思い出の行事

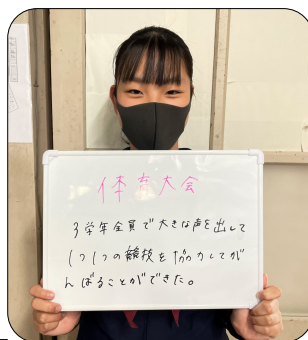


↑【体育大会】一人一人が全力で勝負に挑んだ。【音楽コンクール】クラスが団結することで全員が真剣に楽しく歌うことができた。

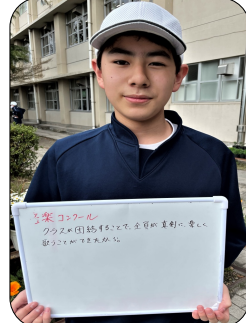
→【体育大会】最後の体育大会でよりみんなと協力して思い出になった。



伊敷中を卒業した緑学年の先輩方。これまでの三年間を振り返るとたくさんの思い出があると思います。三年生の先輩方に思い出の行事を聞いてみました。



→【体育大会】三学年で大きな声を出して、一つの競技を協力してがんばることができた。



生徒会の新たな取組として「使用済みカイロで心も温かく」が始まりました。温かく」が始まりました。生徒朝会で説明した通り、SDGsに向けて伊敷中の第一歩となります。SDGsには、17の目標があります。この使用済みカイロ回収の取組は、14の「海の豊かさを守ろう」につながるものになります。今回は、14「海の豊かさを守ろう」の内容について説明します。

## 使用済みカイロで心も温かく

## 私たちにできること

これまでの人類の生活を支えてきた海の恵みを守るために、海のゴミの削減や漁業の在り方について考えるというものです。島国であり、漁業大国の日本に深く関することであり、私たちが取り組むべき重要な問題の一つです。私たちにできる取組としては「プラスチックの使用を減らす」、「砂浜でゴミ拾いをする」、「地球温暖化対策に努める」

GoGreenCubeとは

- GoGreenとは環境にやさしくするという意味で、GoGreenCubeとは水をきれいにしてくれるキューブのことです
- 使用済みカイロの鉄と炭に企業秘密の酸を加え、団子にしたもの
- これを水に投入すると二価鉄イオンが溶け出し、ヘドロに含まれる酸化水素や揮発性硫黄化合物、そして水中のリン酸にはたきかけて無害化する

使用済みカイロで心も温かく

～SDGs 17の目標達成に向けて～

〈活動手順〉

- 各学年の昇降口に設置したカイロ回収ボックスに使用済みカイロを入れてもらう
- 毎週金曜日に生徒会役員が各学年のカイロ回収ボックス内のカイロを回収する
- 回収したカイロをビニール袋に入れ、段ボールに梱包する
- 以下の住所へ送る  
〒679-0313 兵庫県西脇市周田庄町684-1  
GoGreen物流センター 行
- キューブへと加工され水をきれいに！

〈SDGsとは〉

持続可能な世界にするための国際社会共通の17の目標のことです

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

14 海の豊かさを守ろう

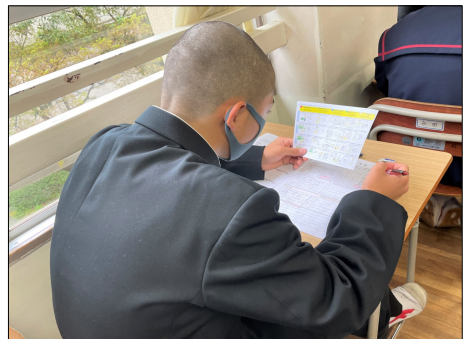
伊敷中では、学校生活の中で発揮することを目指す五つの汎用的な資質・能力があります。みなさんは、学校生活の中でどんな力が発揮されているかを意識していますか。今年度は、各

などがあります。なぜ使用済みカイロが海の豊かさを守ることにつながるかという点、使用済みカイロを使って浄化しようという試みをしている企業に使用済みカイロを送ろうと思っているからです。使用済みカイロの中に入っている粉は「鉄と炭」です。これに酸を加えると「GoGreenCube」というチップになります。ヘドロが発生している水に投入すると水が綺麗になるといいます。この企業は2025年の大阪・関西万博までに会場周辺の海を綺麗にしたいと考えているそうです。そしてその後はこのチップを使って世界中の人が汚した水も元に戻したいと考えているそうです。捨ててしまえばゴミ、でも生かせば環境をよりよくするものになります。環境をよりよくしたいというこの企業の思いに賛同し、伊敷中生徒会でもカイロを集めていきたいと思います。（皆倉甫洸）

## 汎用的な資質・能力

## 論理的思考力を身に付けよう

伊敷中では、学校生活の中で発揮することを目指す五つの汎用的な資質・能力があります。みなさんは、学校生活の中でどんな力が発揮されているかを意識していますか。今年度は、各



次にとどのような場面で生かすことができるかということを考えました。それぞれの教科の授業ですが、生徒会活動の中の専門班会も論理的思考力が生かされる場です。各班や学級、学年の現状を伝えるときに分りやすい理由を述べられていますか。例えば、体育班の更衣後の迅速行動の状況が悪いということを伝えようとするとき、「更衣後の動きが悪かった」と発言するよりは「給食前の八分前着席が出来ず、準備や食べる時間が遅くなり、更衣の時間も遅くなった。」という方が分かりやすい意見となります。自分の意見や考えを人により分かってもらいたいときに必要な力だと思えます。

## 編集後記

修了式を迎え、今年度も終わりととなります。みなさんにとってどのような一年でしたか。今回の翌檜新聞も様々な人の思いを取り上げました。来年度も伊敷中の魅力を取り上げられるように尽力します。よろしくお祈りします。（武 大叶）

「どうしてそう思うのか」ということを考える習慣を付けるだけでも、論理的思考力は身に付いていくのではないかと思います。難しい力だとは思いますが、少し意識してみましよう。（峯苦泰志）